



創	立	昭和32年4月19日
会	長	森川善隆
会長	エレクト	平田博也
副	会	米田常彦
	長	辻田真海
	"	河村善一
幹	事	豊田博樹
公	共	イメージ



事務局（例会場）

榎原市久米町652-2 THE KASHIHARA 4F

TEL/0744-28-2801（直通）

FAX/0744-28-2802

E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp

TEL/0744-28-6636（ホテル）

例会日

金曜日

12時30分～13時30分

Vol. 64 No. 31 (2020-21)

2021(令和3)年7月2日発行

第3090回例会報告書

2021(令和3)年6月25日

司会 副SAA・豊田博樹会員
R.song 我ら日本のロータリアン
ソング・リーダー 小山 修会員

ゲスト

【榎原RAC】

会長 福本紗弓さん、地区RA代表 小川祐輝さん、
幹事 高村美咲さん、会計 平 一希さん、
クラブ委員長 千装大紀さん

出席報告

会員52名

(6/25)

出席者20名

出席率56.52%

(補正なし)

ニコニコ箱

- ◎1年間お世話になり、ありがとうございました。
.....長谷川博章会員
- ◎1年間大変お世話になりました。
.....理事・役員一同
- ◎山川さんにお世話になっております。
.....矢吹吉男会員
- ◎今年も健康に恵まれて、皆出席することができました。
.....山川 賢会員
- ◎長谷川会長、松井幹事、お疲れ様でした。
.....辻田真海会員
- ◎出席・ニコニコ箱・ソング委員長の吉川です。1年間ご協力ありがとうございました。
.....吉川弘晃会員
- ◎本年度どうもありがとうございました。
.....仲谷 登会員

会長挨拶

○皆様こんばんは。いよいよ本日が最終例会となった。長いようであつという間の1年間だったと感じている。後ほど退任挨拶でもお話をさせて頂くが、何とか1年間無事に、どなたもコロナに感染せず、今日を迎えることができ、とてもホッとしている。次年度に向けて良いスタートが切れるよう、各委員長からのご報告の後、私と松井幹事の退任挨拶をさせて頂く。本日もよろしく願いたい。

委員会報告

○ORA・IA委員会：尾上隆志委員長

本日、榎原RACから5名参加予定だが、会長の福本さんと幹事の高村さんが仕事の都合で遅参されるとのことなので、福本さんの代理として、榎原RACを代表して千装さんからご挨拶を頂く。

【千装大紀さんよりご挨拶】

皆様こんばんは。本来であれば会長 福本より挨拶をさせて頂くべきところだが、遅れての参加となる。挨拶文を預かっているため代読させて頂く。

「榎原RCの皆様、1年間ご指導、ご鞭撻頂き、誠にありがとうございました。先日、当クラブホストのもと開催致しましたローターアクト地区大会には、榎原RCの皆様よりご登録並びにご協賛頂き、誠にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。皆様のご指導、ご協力もあり、地区大会を無事に開催することができました。未熟な点も多くありましたが、ご指導頂いたことで、クラブ員の成長に繋げることができました。今回の学びや成長を今後の活動に生かし、次年度以降も精一杯ローターアクト活動に励んで参ります。7月からは生野会長エレクトを筆頭に新たな1年がスタートします。次年度は榎原RAC創立40周年を迎える年度でもあります。次の1年が今後の5年、10年に繋がるよう、精一杯活動に励んで参りたいと思います。次年度も変わらぬご指導、ご鞭撻頂けますと幸いです。1年間誠にありがとうございました。

榎原RAC 会長 福本紗弓

【地区RA代表 小川祐輝さんよりご挨拶】

皆様こんばんは。福本会長の挨拶にもあった通り、先日、ローターアクト地区大会を榎原の地で無事に開催することができた。榎原RCの皆様のご協力があったので、大成功に繋がったと思っている。誠にありがとうございました。地区大会では感極まって3回ほど涙を流してしまったが、皆様のご協力のお陰で頑張ることができ、心より御礼申し上げる。本来であれば、私は今年で卒業する年であるが、もう1年クラブに残るので、次年度の創立40周年も是非皆様にサポートして頂きたいと思っているので、その際は何かご協力の程、よろしく願いたい。ありがとうございました。

○出席・ニコニコ箱・ソング委員会：吉川弘晃委員長
・皆勤賞の贈呈

今年度はコロナ禍の影響もあり、7月から12月までの期間で集計させて頂いた。

井上輝好会員・尾田肇睦会員・尾上隆志会員・
河村善一会員・長谷川博章会員・平田博也会員・
増田善昭会員・松井大典会員・安永吉伸会員・
山川 賢会員・吉川弘晃会員 以上11名



卓 話

「クラブ・フォーラム（総括）」

—Club Forum : Summary—

【会計 中林隆男会員】

<活動状況>

今年度の収入の方では、会員増強委員会を中心に会員増強を図って頂いた結果、約10名の会員増になったため、会費収入を大幅に増加することができました。

支出の方は、今年度はコロナ禍の影響により当初予定されていた奉仕活動の一部が中止・諸大会の中止・例会の休会等があったため、活動費・運営費が大幅に減少しました。

事務局費も予算内に実施することができました。

以上の結果、次年度への繰越金が増加した状況です。

<感想・申し送り事項>

次年度への引き継ぎとして、地区補助金をより活用し、地域社会に貢献できるような奉仕活動を行って頂きたいと思えます。

また、さらに会員増強を図るためにも、他クラブより高い年会費を少し下げる努力も必要ではないかと思えます。

【SAA 菅生康清会員】

(代理発表：豊田博樹副SAA)

一年間を通じて、毎回の例会が楽しく和やかな雰囲気で行われ、会員相互の親睦を深め、ビジターや卓話の講師の方に良い印象を与えるよう、豊田副SAAと協力して円滑な進行に努めました。

食事に関しても会長・幹事の意向を受けて、より会員の皆さんに満足して頂けるよう心がけてホテルと打ち合わせをしてメニューを決めました。ただ、期中で



コロナ感染が再拡大したため、感染拡大防止のために別室でスクール形式での食事となったことは残念でした。

コロナ禍の影響で例会の休会もあり、予算に対して費用はかなり下回って着地する予定です。

【奉仕プロジェクト委員会 森川善隆委員長】

①職業奉仕委員会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来より行われていた活動も全くできず、計画していた医療従事者の方々への寄付もできず、次年度でよろしくお祈りします。

②社会奉仕委員会

新型コロナウイルス関連で(1)クリーンアップならキャンペーン、(2)身体障がい者サッカー教室の開催が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。次年度でよろしくお祈りします。

③国際奉仕委員会

国際ロータリー第 2650 地区国際奉仕活動に積極的に参加したかったのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、国際大会(台湾)までも現地開催中止となった。

④青少年奉仕委員会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初計画していた「児童福祉施設見学」や「RYLA(ライラ)」が開催できず中止となった。

⑤米山奨学委員会

本年度も目標寄付金額を達成することができました。会員皆様方のご協力に感謝します。

⑥ローターアクト・インターアクト委員会

本年度は新型コロナウイルスの影響により限られた活動環境の中ではありますが、RAC、IAC 共にその中でもできる方法を模索し、目的を見失うことなく活動を行って頂いた。RAC は福本会長の強いリーダーシップと的確な判断による組織運営がなされた一年であった。

<職業奉仕委員会 中谷昌紀委員長>

今年度におきましては、新型コロナウイルス感染症拡散予防で、従来より行われていた活動も全くできず、また、計画していた医療従事者の方々への寄付もできずじまいでした。申し訳ございません。

なお、医療従事者の方々への寄付は次年度の社会奉仕委員会で行って頂けるということです。

<社会奉仕委員会 堀部光志委員長>

1)「クリーンアップならキャンペーン」参加

2) 身体障がい者サッカー教室の開催

この2点は悉く新型コロナウイルスの関係で中止となりました。

3) ロータリーの森の活用・整備について下記の通りご報告致します。

土地所有者：奈良県

使用許可：当ロータリー50周年時単年度のみ許可を受けている(当クラブに許可書あり)。奈良県には一切記録なし。

(ロータリークラブが維持管理を引き受けるなら無償で使用しても良いとの回答)

(ただし維持管理の範囲は県と打合せが必要)

当初8月末の時点で現地調査を行ったところ、雑草と桜以外の雑木で立ち入ることもできない状態でした。

整備費用を業者に概算してもらったところ「草刈りのみでも300,000円以上かかる」とのこと。

理事会に諮りましたが理事会預かりとなり、いまだ回答頂いていませんので途中で止まったままです。

1月・4月末に訪れたときは雑草も少なく奥まで入ることができました(他にもおられそうです)。

*整備したら良いものになり、他委員会とも連携すれば活用範囲が広がると感じた。

<国際奉仕委員会 仲谷 登委員長>

国際ロータリー第 2650 地区の国際奉仕活動に積極的に参加したかったのですが、新型コロナウイルス感染症の流行により、地区活動は元より、国際大会(台湾)までも現地での開催は中止されました。

次のプロジェクトに向け地区と共に奉仕活動に参加したかったのですができませんでした。

しかし、地区委員会のズームミーティングでの会議出席・国際奉仕セミナー参加で、ポリオ問題、住血吸虫症等の件で、交流が図れたと思っております。

本年度、十分満足するような活動ではございませんでしたが、次年度国際奉仕委員会に地区出向させていただきます。

また、次の国際大会はヒューストンでの開催予定です。進んで参加させていただきます。

<青少年奉仕委員会 河村善一委員長>

新型コロナウイルスの感染拡大により、本年度が始まる前に青少年奉仕委員会として最大の事業である「ジュニアサマースクール」の中止が決定しました。

その後も定期的に感染が拡大したため、当初計画していた「児童福祉施設見学」や「RYLA」も開催できず、結果として何も活動できませんでした。

ジュニアサマースクールは、2021-22年度も開催を見送ることとなりましたが、2022-23年度に復活を検討して頂きますようお願い致します。

【米山奨学委員会 吉村輝高委員長】

委員会の主な役割として会員から善意の寄付をお願いすることです。前期・後期会費納入時に寄付金をお願いしていますが、10月の米山月間のときに改めて寄付のお願いを致しました。当地区の目標寄付額は一人当たり24,000円となっており、当クラブはここ数年、地区目標を達成しており、今年度も31,019円と達成することができました。会員の皆様ありがとうございました。

寄付は随時受付をしておりますので、委員会または事務局に申し出てください。

次年度も河村会員が地区へ出向していただきますので、よろしくお願い致します。

引き続き、奨学生グォン・ティータイン・ヒュオンさん(ベトナム)も受け入れております。カウンセラーと共に2022年3月までお世話にご協力ください。

【RA・IA委員会 尾上隆志委員長】

本年度は新型コロナウイルスの影響により、限られ

た活動環境の中ではありませんでしたが、RAC・IAC 共にその中でもできる方法を模索し、目的を見失うことなく活動を行って頂きました。

IACにおいては、例年行っている屋外・対外的な奉仕活動が自粛される中で、学内及び家庭内で作成したマスクを地域団体や施設に寄付する活動を行って頂きました。また、活動の詳細並びに出納関係をRCとIACとの間で精査し書式を決定したことで、IAC活動が滞ることなく行える環境を整えました。

RACにおいては、福本会長の強いリーダーシップと的確な判断による組織運営がなされた一年であったと感じます。一部の例会並びに理事会をオンラインで開催するなど、社会の状況を適宜捉えながら、活動を滞ることなく行って頂きました。全国的にRACの会員数が減少する中、榎原RACも例外なく会員数が減少している状況を踏まえ、会員拡大にも積極的に取り組む姿勢を見せてくれました。本年度は6月に地区大会の主管を担うという一大事業があり、小川君を地区代表として輩出していることもあり、榎原RAC全員で「地区大会の成功」に向けた取り組みを一年かけて準備し、開催して頂きました。途中、大会のあり方が急遽変更を強いられることもありました。それにも即座に対応し、柔軟な発想とRACメンバー全員の力でやり遂げられたことは、榎原RACにとっても大きな経験になったのではないかと思います。

《次年度申し送り事項》

IAC・・・一年間の事業計画、収支予算・決算書を作成しており、その提出期日並びにRCからの活動資金支出に関わる取り決めを作成しておりますので、次年度以降もその方法に添った活動支援をお願いします。

RAC・・・次年度は榎原RAC 40周年を迎える年となります。会員数の減少は組織力の低下にも結び付きます。会員増強を図るためにも、何が必要か、何をしなければならぬのか、を一緒に考えてあげ、結果に繋がるよう導いてあげて頂きたいと思っております。

【クラブ管理運営委員会 平田博也委員長】

長谷川会長の所信「今こそみつめなおそう ロータリークラブとして何ができるのか」を基本として、当クラブ会員相互の理解と親睦、そして社会のニーズを掴み奉仕活動への意欲向上に繋がるような情報の提供ができるようにと、親睦活動委員会、プログラム委員会、出席・ニコニコ箱・ソング委員会の3つの委員会において各委員長の下に活動を行って頂きました。コロナ禍の影響等により急な例会の変更等にも臨機応変な対応をとって頂き、例会への影響はなかったと思っております。

各委員会の活動を振り返りますと、親睦活動委員会におきましては、8月の納涼例会そして親睦活動の目玉である12月の望年親睦家族会を場所・内容を急遽変更しての開催となりました。委員長自らクイズの企画で参加者を楽しませて頂き、アットホームな雰囲気で行うことができましたと思っております。

4月の一泊例会は、コロナ禍の中でしたので参加者は少なかったですが、会長・幹事を含む14名の会員の参加により開催され、皆無事に終えることができま

した。

クラブ内の活動については以上ですが、昨年度・今年度と中止になっている奈良県の南にある7クラブ集まっのゴルフコンペ「南輪会」を次年度も榎原RCが担当することになります。次年度親睦活動委員長よろしくお願い致します。

プログラム委員会では、年間行事に基づき卓話担当の割振りをし、会員担当による卓話と外部からの地域の識者による卓話により、自己紹介や各業種の理解とこれからの地域等の姿を知ることができ、見識も広がり、奉仕活動に繋がる魅力あるプログラムを組んで頂きました。コロナ禍の影響で例会が休会になったりと日程調整等大変苦労されたと思います。

出席・ニコニコ箱・ソング委員会では新入会員が12名増え、受付をすることによるロータリーの基本であります出席の意義、ニコニコ箱・ソングを含め例会が始まるまでの雰囲気づくりの大切さを学び、会員同士の親睦、また出席率の向上、ニコニコ箱の協力、例会前のソングとスムーズに例会に入れるよう努めて頂きました。ただ新旧会員の親睦の場・機会がコロナ禍の影響で少なかったように思います。次年度はそういった場が増えることを期待しますが、例会での席のあり方を考えて頂ければということと、同好会等にも積極的に参加し、ロータリーライフを楽しめるものにして頂ければと思っています。

次年度はコロナ禍を乗り越え、これまで以上の活動ができることを期待し終わります。

<親睦活動委員会 安永吉伸委員長>

本年度、コロナ禍により納涼例会及び望年親睦家族会が共に夜間例会へ変更となりました。

両例会を楽しみにされていた会員様、ご家族様には大変残念な思いをさせてしまいましたこと、誠に申し訳ございませんでした。一泊例会では、北原白秋の街である福岡県柳川市で川下りと、観光地として人気の糸島にて2日間にわたり開催させて頂きました。現地では、長谷川会長のご友人である柿添様が経営する大川ドリーム観光バス様のご協力もあり、安全に楽しく開催できました。前年から延期となっていました南輪会ゴルフ大会は、本年度もコロナ対策のため次年度へ再度延期となりました。最後にご協力頂きました委員会メンバー皆様に感謝致します。次年度も引き続き親睦活動委員会を担当させて頂き活発に運営致します。一年間ありがとうございました。

<プログラム委員会 吉田浩巳委員長>

本年度は、長谷川会長のご指示のもと、ロータリアンにとって魅力ある卓話を最優先に考え企画致しました。特に医療、行政、経済等のさまざまな分野の第一線でご活躍されている方々を講師にお招きし、ロータリアンにとって最先端の情報の習得や感動、そして新しい発見が一つでもあればという思いで人選をさせて頂きました。

コロナ禍の影響を受けながら日程において講師と再調整はしたものの、概ね当初予定していた卓話講師をお招きできたことは、プログラム委員会としては満足できる結果だと思っております。

次年度への申し送り事項としましては、年度ごとに

会長の意向が違いますので、会長の思いを反映した委員会の活動が望ましいのではないかと考えています。

<出席・ニコニコ箱・ソング委員会 吉川弘晃委員長>

出席委員会は、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、やはり出席率は思うようには伸びない状況でした。例会も休会が多くなりながらも例年通り皆出席の会員には、その努力に敬意を表し記念品を贈呈しました。

ニコニコ箱委員会は、今年度もお陰様で、会員皆様方に協力を頂きました。

ソング委員会は、今年度も楽しく指揮ができ、より良い例会を演出することができました。

<会員増強委員会 米田常彦委員長>

(代理発表：尾上隆志副委員長)

年度初めの活動計画では、“5名以上の会員増強の必達”と掲げさせて頂き、それを大幅に上回る12名の会員増強になりました。

ガバナー月信6月号、2021年3月会員数の増減および出席率表によると2650地区で入会人数は、京都RC 15名、福井RC 14名に次ぐ3番目、純増は10名で、地区内では二桁は当クラブのみです。

コロナ禍の中、1月までは、ほぼ毎月、委員会開催。入会者はほぼ毎月、多い月は3名の入会者があった月もありました。

これもひとえに尾上副委員長をはじめとする6名の委員会メンバーのそれぞれの頑張りです。

しっかりと結果として成果を創り上げて頂きました。

目標設定に対しての結果づくり、そして楽しんでやってきました。

本当にありがとうございました。

会員増強は、必須の永遠のテーマです。やり続けることです。

次年度 吉川弘晃委員長、60名へのチャレンジよろしくお願ひ致します。

Yes, We can! 本気でやればたいていのことは、出来る!!

<ロータリー財団委員会 増田善昭委員長>

ロータリークラブの国際貢献プログラムに対する会員の理解度の向上と同時に協力を仰ぎました。

本年度も引き続きコロナ禍にあり例会開催ですらかなりの休会を余儀なくされた中でも、会員諸氏の理解とご協力のもとロータリー財団への寄付も予定通り達成でき、厚く感謝申し上げます。

ロータリー財団のプログラムは3種類ありますが、それは教育的プログラム、人道的補助金プログラム、ポリオ・プラス・プログラムです。特に従来から財団が協力を推進し、ほぼ終結に近いポリオ・プラス・プログラムの事業は、昨今の世界的なコロナウイルス惨禍の中でウイルス起源の病気の根絶に果たしてきた方向性は時機を得た素晴らしい事業であったことが証明されたと思われまます。

本年度は

- ・ポールハリスフェロー 1名
- ・マルチプルポールハリスフェロー1回目 1名

- ・マルチプルポールハリスフェロー2回目 2名
- ・マルチプルポールハリスフェロー3回目 1名
- ・マルチプルポールハリスフェロー5回目 1名
- ・ベネファクター 0名

以上の通り年間協力予定は達成できました。

<公共イメージ委員会 辻田真海委員長>

今年度は、ホームページやWEBサイトを有効に活用し、地域社会はもちろんのこと、クラブ会員にも各委員会の活動を発信し、理解と協力を求めることを基本方針として活動して参りました。週報の作成・保存はもちろんのこと、昨年度より始めたFacebookの活用により、クラブ会員以外にも柵原RCの活動を広く知って頂く機会をつくりました。

Facebookにいたっては、一般社会の人々を始め、全国のロータリークラブの100数十クラブからフォローを頂きました。

「ロータリーの友」にも、インターアクトの活動を掲載して頂き、コロナ禍で十分な活動ができなかったインターアクト会員の励みになったと思います。ただ「ロータリーの友」の活用に於いては、まだまだ試みたいことがありましたが、例会数が減少し十分な活用ができなかったことが悔やまれます。今後ますますのWEBサイト・「ロータリーの友」の有効活用を次年度以降の委員会に求めます。

【長期計画委員会 長谷川博章委員長】

新型コロナウイルス感染症対策により集まっの会合ができないため、十分な議論ができなかった。

本来なら65周年の周年行事を検討すべきだったが次年度は予定がないとのことであった。

懸案である会員増強は一定の成果があったが引き続きの模索が必要である。

「会長・幹事退任挨拶」

<会長 長谷川博章会員>



会長退任にあたり一言ご挨拶させていただきます。

振り返ってみますと昨年7月の会長就任以降、常に新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年間でした。

対外事業は全くできず、またある意味組織として重要な親睦行事も多くの制約を受けての開催となつてしまいました。

何とか例会だけは開催したいという思いから食事を別会場にさせて頂きましたが会員の皆様にはご不便をおかけした事、大変申し訳なく思っております。

こうした状況でありましたが卓話の講師には各界の代表される方にお越し頂き、充実した例会を開催で

きたのではないかと考えています。

さらに長年の懸案であった会員増強では 12 名の入会者があり 50 名を超える組織として次年度に引き継げたことは大きな成果だったと思います。

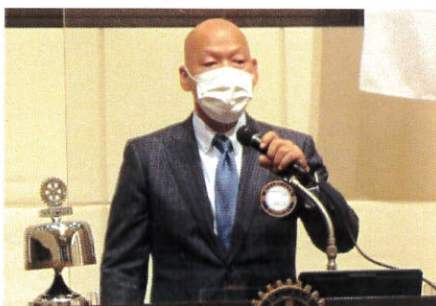
また、ローターアクトの地区大会がリモートではありますが、榎原ローターアクトクラブがホストとして開催できたことは非常に有意義な行事であったと確信しています。

ただ、現状は厳しいものがあり、これからの事業もコロナウイルス対策をしながらの活動となりますが、次年度も引き続きのご協力をお願い致します。

最後に、この1年間支えて頂きました松井幹事をはじめとする理事・役員の皆様と事務局に感謝申し上げますと共に、全ての会員のご健勝を祈念申し上げ御礼のご挨拶とさせていただきます。

本当に1年間ありがとうございました。

<幹事 松井大典会員>



コロナ禍の真っ只中に2020-21年度はスタート致しました。我々がいまだかつて経験したことのないパンデミックの中で、RIや地区の方針を受けながらのクラブ運営となりました。長谷川会長をはじめとする理事・役員の皆様とも協議を重ね、松原ガバナーの新型コロナウイルスに対する慎重な姿勢をある程度尊重しながらも、榎原RCはできるだけ前向きにこの一年間進んで参りました。

ウイルスは人の力を借りてのみ猛威を振ります。人が賢く行動すればウイルスは勢いを失います。振り返って、今年度会員から一人の感染者も出なかったことは、皆様の行動や判断が正しかったからだと思います。

私自身は、クラブ運営についての知識や理解に未熟な部分も多々ありました。反省しております。

会員皆様には、一年間多くのご協力と寛容の心を頂きました。ありがとうございました。

花 束 贈 呈

長谷川会長・松井幹事に感謝を込めて、森川会長エレクト・河村副幹事より花束が贈呈された。



乾 杯 の 発 声

【山田善紀会員】

皆様こんばんは。諸先輩方を差し置いて、僭越ではあるが、ご指名頂いたので乾杯の発声をさせていただきます。

私は3月から入会させて頂き、まだ入会して数ヶ月で年度末ということで、まだ何も分からないが、この1年間、長谷川会長、松井幹事はじめ各委員会の皆様方、お疲れ様でございました。

先程のフォーラムでの報告をお聞きし、コロナ禍の影響で思い描いていた活動がなかなかできないところがあったと思う。そのような中で私をはじめ12名の入会があったということは、今年度の榎原RCでの唯一の希望の光であったのではないかと感じている。私達は期の途中から入会したので、榎原RCに対して貢献できていないが、次年度からは私達も榎原RCに少しでも貢献していくことができればと思っている。

私は父親が昔クラブに入っていたのでクラブの印象が自分の中にあり、お堅い厳しい方ばかりかと勝手に思っていたが、とてもフランクでフレンドリーな方ばかりで花見例会の時も楽しくお話をさせて頂き、私としてはうれしい誤算だった。次年度以降もよろしく願いたい。

では榎原RCの益々の発展と皆様のご健康を祈念して、乾杯！



【例会ご案内】

7月9日(金) <第2例会>

フォーラム

(奉仕プロジェクト常任、クラブ管理運営常任、
会員増強・ロータリー財団・公共イメージ常任)、
地区出向者挨拶

7月16日(金)・7月23日(金・祝)

休会

7月30日(金) <第3例会>

担当：プログラム委員会

8月6日(金) <第1例会>

納涼例会

担当：親睦活動委員会

【同好会】

書道同好会

7月2日(金)・9日(金)

8月20日(金)・27日(金)

午後2時～ 於：4階 楓の間

【RAC 例会】

【榎原オークホテルにて、午後7時30分～9時】

7月14日(水) <第1例会>

所信表明

7月28日(水) <第2例会>

ゾーン代表公式訪問

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。